

令和七年度春季入学(秋季募集)

熊本県立大学大学院 文学研究科日本語日本文学専攻 博士前期課程

一般選抜入学試験問題

― 注意事項 ―

- 1 試験開始及び終了は、監督者の時計が基準です。監督者の指示に従ってください。
- 2 試験開始後は四十分を経過しなければ退室できません。また、試験終了十分前から退室できません。

- 3 試験開始の合図があるまで、問題冊子を開いて中を見てはいけません。

- 4 解答用紙への受験番号などの記入は試験開始の合図があつてから始めてください。

- 5 設問は ☐一 ☐二 ☐三 の三題です。解答すべき問題は次の通りです。

☐一 全員必須

☐二 ①②とも全員必須

☐三 ③～⑪のうちから二問のみを選択

- 6 ☐一の解答については解答用紙(設問 ☐一)に記すこと。また、☐二と☐三の解答は全て解答用紙(設問 ☐二・☐三)に記載し、各解答用紙の冒頭には、どの問題に対する解答かわかるように、
①～⑪までの番号のいずれかを記してください。

- 7 解答用紙は五枚用意されています。追加で解答用紙を必要とする場合は静かに手を挙げてください。

- 8 答案回収時に解答用紙を提出しない場合、本科目は採点されません。

- 9 試験終了後、この問題冊子は持ち帰ってください。

一 次の影印本文を読んであとの問題に答えよ。

問一 傍線部X・Zの読みを現代仮名遣いで答えよ。

問二 傍線部A・Cの仮名の字母を記せ。

問三 傍線部アを現代語の発音に則して濁点を補った上で翻刻せよ。

問四 傍線部Yの意味を答えよ。

問五 傍線部イ・オは何を意味する言葉か。その答えとして最適な文言を、影印本文から二字で抜き出して答えよ。

問六 ① 影印本文の作品名を答えよ。

② 文学史上、影印本文の作品と同じジャンルに属す作品名を一つ答えよ。

著作権保護の観点から、問題文は掲載していません。

二 次の問題に答えよ。(二問とも必須)

① 日本語の語彙体系における和語・漢語・外来語の役割とその成立の史的背景について知るところを述べよ。

② 研究対象の作品を論じるにあたり、テキストの選定(どのような本文をもって引用するか)にどのような注意が必要になるのか、具体的に述べよ。

三 次の問題のうちから二問を選択して答えよ。(二問のみ選択)

③ 山田孝雄の唱えた「複語尾」の考え方が現代の文法研究とどのように関連するかについて論ぜよ。

④ 平安前期の歌物語における和歌の機能について、具体例を挙げて説明せよ。

⑤ 日本語の名前(人名、キャラクター名、商品名、など)に見られる音象徴について、具体例を挙げつつ、知るところを述べよ。

⑥ 日本の学術に対する中国の学術の影響について論ぜよ(日本の時代や学術領域は自由とする)。

⑦ 日本近代文学における性愛表現に関して、具体例を挙げつつ考察を展開せよ。

⑧ 異文化トレーニングの一つであるカルチャー・アシミレータについて説明せよ。

⑨ 十七世紀初頭にキリシタンによって刊行された『日葡辞書』は、日本語の史的研究においてどのような価値を持っているか。具体的な研究事例とともに説明せよ。

⑩ 近世における俳諧の展開について概説せよ。

⑪ 田淵句美子『百人一首―編纂がひらく小宇宙』（岩波書店、二〇二四）は、「百人一首」の歌の配列が意識的な工夫のもとになされていると説く。そこでは、以下に掲げる四首について、契沖の『百人一首改観抄』の指摘を援用しながら、次のように図示する。

著作権保護の観点から、問題文は掲載していません。

この図を参考に、契沖が説く「列樹よりこなた四人の歌、紅葉、桜、松、梅をよめるを一類とす。其中に初二首は、紅葉と桜と同じく隙なく散事をよめるを一類とし、興風が歌と貫之の歌は、心の似たるをもてつらねらるる歟。」を、分りやすく解説し、この配列の工夫をさらに敷衍して説明せよ。